



沖縄リゾートウエディングに関する調査について

20140918定例記者会見
沖縄総合事務局総務部

沖縄ミニ経済レポート vol.4

調査趣旨

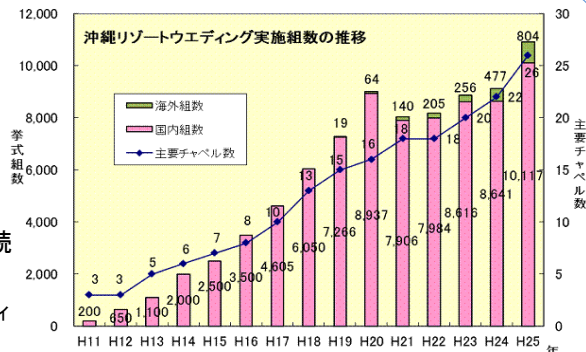
リゾートウエディングは、国内・海外のリゾート地で行われる結婚式のことで、国内では、沖縄県をはじめ、北海道、軽井沢（長野県）、海外ではハワイ、グアムなど有名どころとなっています。

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課の統計においては、「沖縄リゾートウエディング」(※)は、統計を取り始めた平成11年の実施組数200組から平成25年には10,921組となり、目標の10,500組を達成し、順調に推移しています。

一方で、我が国における婚姻件数は、少子化による若年層の減少等を背景に、減少傾向を示しています。

沖縄総合事務局では、我が国の婚姻件数が減少傾向にあるなか、「沖縄リゾートウエディング」の課題等を把握し、その持続的な発展に向けた調査を行いました。

(※)「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、挙式、披露宴、フォトウエディングなどで来県し結婚式を行うウエディングスタイルのこと。



WEBによるアンケート調査結果概要

【リゾートウエディングの検討状況】

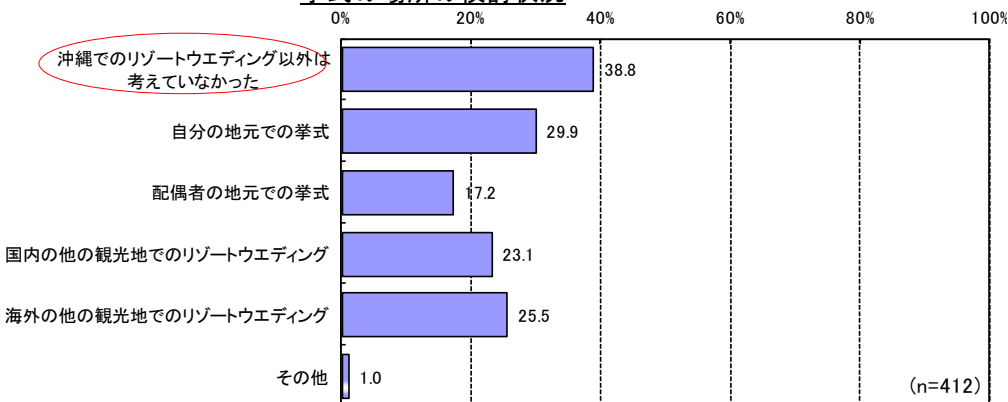
・リゾートや観光地で挙式を挙げてみたいと思ったきっかけは、「挙式サービス事業会社のWEBサイト」が最も多く、実際に、リゾートウエディングを検討する際、式場の情報源として「結婚情報誌」「式場のWEBサイト」が多く利用されています。

・リゾートウエディングを検討し始めた時期は、「挙式の6～8ヶ月前」が最も多く、挙式の場所については、約4割の方が「沖縄でのリゾートウエディング以外は考えていなかった」となっています。

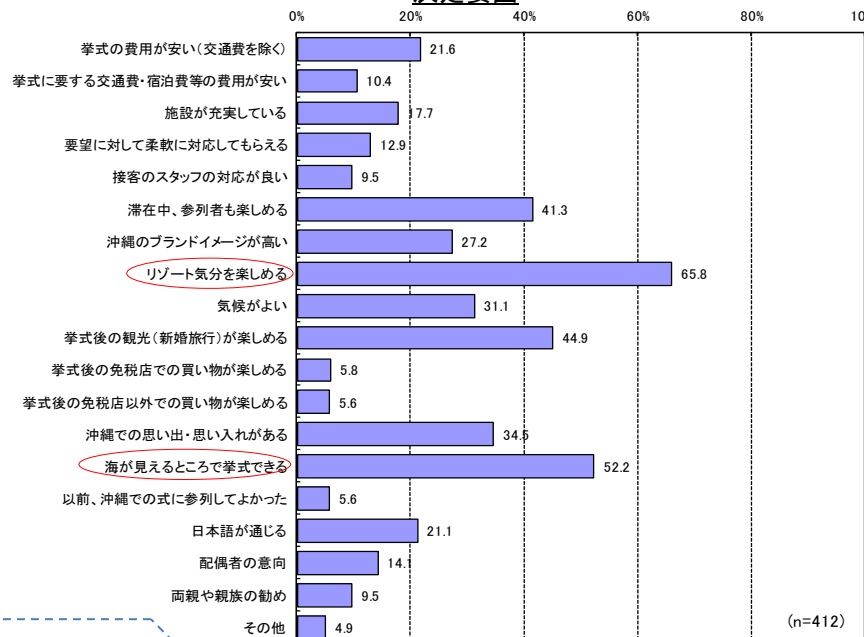
・国内の他の観光地では北海道、軽井沢（長野県）、海外ではハワイ、グアムがリゾートウエディングのライバルとしてあげられています。

・沖縄での挙式決定要因としては、「リゾート気分を楽しめる」が最も多くなっています。

挙式の場所の検討状況



決定要因



【挙式状況及び挙式後の沖縄旅行(新婚旅行)】

・挙式形態は「式のみ」「式と披露宴」が半々で、挙式スタイルは「チャペルウエディング」が大半を占めています。

・新郎新婦の滞在日数は平均4.9日間で、1週間以上滞在している方もいます。

・参加者の数は平均25.4人、挙式費用は平均155万円となっています。

・約9割の方が挙式後に沖縄旅行(新婚旅行)をしており、平均の旅行日数は3.5日間、旅行費用は31.7万円となっています。

【WEBによるアンケート調査について】

(1) 調査期間 平成26年6月27日(金)～28日(土)

(2) 調査対象 標本数412

(沖縄県外在住で、沖縄でリゾートウエディングを挙式したことがある方で20歳以上の男女(該当者数))

なお、本調査は、(株)ケーシーエスに委託して実施。



沖縄リゾートウエディングに関する調査について

20140918定例記者会見
沖縄総合事務局総務部

沖縄ミニ経済レポート vol.4

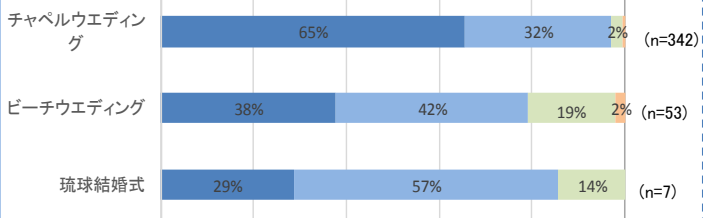
【リゾートウエディングの満足度】

・「とても満足」「やや満足」を合わせて94.4%が満足しています。
・挙式形態別では、新郎新婦、参列者ともに「式と食事会」「式と披露宴」の満足度が高く、挙式スタイル別では「チャペルウエディング」の評価が高くなっています。

・不満な点として、新郎新婦からは「天候の悪さ」「本土の代理店と沖縄の式場の連携不足」など、参列者からは「料理やドリンクの味」「式と披露宴の待ち時間の長さ」「空港からの移動」となっています。

挙式スタイル別の満足度

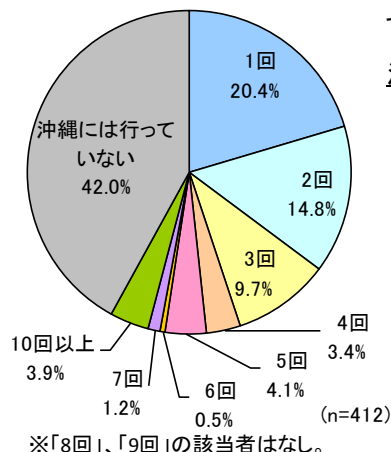
■とても満足 0% ■やや満足 20% ■どちらともいえない 40% ■やや不満 60% ■とても不満 100%



【リゾートウエディングによる波及効果】

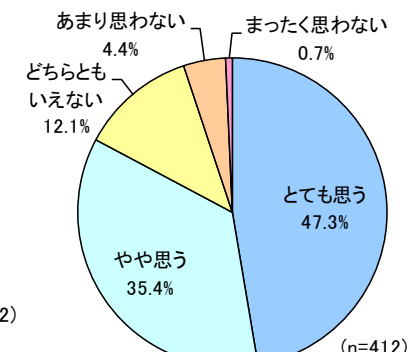
・挙式者の約6割が、挙式以降も沖縄を訪問しています。

挙式以降の沖縄への訪問回数



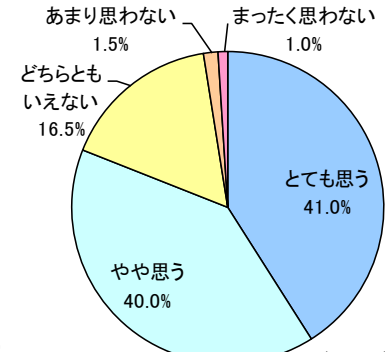
・将来、お祝い事(結婚記念日、子どもの誕生日、退職祝い等)を沖縄でしてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。

沖縄での祝い事の実施意向



・知人へ「沖縄リゾートウエディング」を勧めてみたいと思っている方は、「とても思う」「やや思う」を合わせて約8割となっています。

沖縄リゾートウエディングの知人への勧誘意向

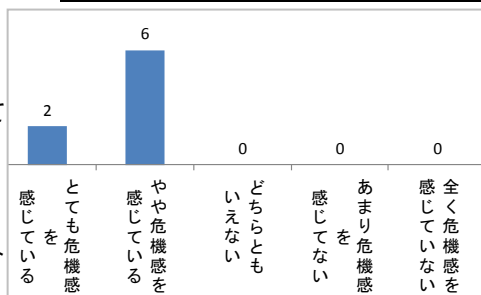


沖縄リゾートウエディング協会会員に対する調査結果概要

・県内のリゾートウエディング取扱事業者は、進展する少子高齢化による若年人口の減少、未婚率の上昇や挙式しない婚姻者の増加など国内におけるウエディングを取り巻く環境が厳しくなっていることに対して危機感を感じています。

・写真にこだわりの強い外国からのお客さん向けの「フォトグラファー指名制度」や旅行がてら普段着でできる「おきなわファミリー婚」など、新たなニーズに対する取り組みが展開されています。

リゾートウエディングを取り巻く環境について



「おきなわファミリー婚」とは、結婚式を挙げていないカップルの方とご家族に結婚式と家族旅行を兼ねて絆を深める旅とセレモニーを想い出に、旅行がてら普段着でできる挙式スタイルのこと。

【沖縄リゾートウエディング協会会員に対する調査について】
協会会員企業(42社)のうち、ウエディングプロデュースやホテルを運営する9社に対して、沖縄リゾートウエディングの現状や挙式者のニーズ等について調査を実施。

【沖縄リゾートウエディングの持続的な発展に向けて】

沖縄は、国内におけるリゾートウエディングの地として認知度が高く、また、「リゾート気分を楽しめる」という魅力を持していることが、沖縄リゾートウエディングの実施組数が継続して増加してきた要因と考えられます。婚姻件数が減少していく中、持続的な発展に向けては、次のことが大事です。

- ・リゾートウエディングの地としての沖縄の魅力を引き続きPRしていくこと
- ・新郎新婦と綿密な打ち合わせを行い、新郎新婦や参列者の挙式、披露宴とその後の旅行に対する要望をよく聞き取り、より魅力のある商品づくりを行うこと
- ・参列者からの不満点(空港からの移動など)を踏まえた参列者の満足度を高める取組みの検討

また、今後、リゾートウエディング地間競争の激化が予想されることから、リゾートウエディングの差別化を図る必要があると考えられます。その一つとして、アンケートにおいて、「将来、お祝い事を沖縄で行いたい」との意向が8割を超えていることから、生涯にわたって、お客様との関係性の構築(木婚式、錫婚式、…、金婚式)を図っていくことが、沖縄観光の持続的な発展につながると思われます。